

「診療・教育・ライフイベントを両立できる環境」

消化器内科

橋爪 瞭先生 2022 年 昭和医科大学卒業 2024 年入局



はじめまして。内科専攻医 2 年目の橋爪です。

私は昭和医科大学を卒業後、昭和医科大学病院で初期研修を行い、現在は当センターに所属しています。

当センターの大きな特徴は、消化器内科と消化器外科が同じ医局として一体となり、診療・教育を行っている点です。日常診療の中で自然に意見交換ができ、診断から内科的治療、外科的治療まで、消化器疾患を多角的に学ぶことができます。医局内は非常に風通しが良く、内科・外科の垣根を感じることはありません。

内視鏡診療も非常に活発で、専攻医 1 年目から上部消化管内視鏡だけでなく、大腸内視鏡や胆膵内視鏡にも段階的に関わることができます。指導医の先生方のもとで、一つ一つの手技を丁寧に学びながら、実践的な経験を積むことができる環境が整っています。

また、医局の雰囲気が良く、上級医の先生方に相談しやすいことも当センターの魅力の一つです。診療や手技のことだけでなく、進路や働き方についても親身に相談に乗っていただいています。私自身、専攻医 2 年目の途中で育児休業を取得しましたが、周囲の理解とサポートのおかげで、安心して復帰することができました。ライフイベントと両立しながら働ける環境があると実感しています。

消化器領域を幅広く、かつ実践的に学びたい方にとって、非常に魅力的な研修環境だと思います。

ぜひ一度、当センターの雰囲気を感じに来てください。

私たちと一緒に働ける日をお待ちしています。